

令和3年度 事業報告書

I 全般

公益法人としての誇りと自覚をもって、公益目的事業を積極的に推進し、国防思想の普及啓発に努めた。

令和3年度の事業は、年度の事業計画及び収支予算に基づき実施を予定したが、新型コロナウイルス感染事態の影響で軒並み計画の中止をせざるを得なかった。

II 事業

1 国防思想の普及啓発事業

国防思想の普及啓発を図るため、8回計画した講演会は7回実施にとどまったが、機関誌の頒布及びホームページの運営等の事業は計画通り実施した。

(1) 調査研究

内外の国防に関する諸情勢の調査研究、国防のあり方の探求・発表等計画倒れとなり実行できなかった。

(2) 国防問題講演会の開催

計画した8回講演会は、新型コロナウイルス感染事態の影響で実施は7回にとどまった。しかしながらそのうち2回は現職自衛官の講演であり、時宜を得た現場体験者の講演であった。

講演回数は減ったものの「国防問題に対する認識と理解を深め、国防思想の普及啓発」については一定の成果を得た。

年月	講師	経歴	演題	聴講者
令和3年 4月23日	中谷 元	日本国防協会 会長	コロナ後の国際社会における 日本の対応	24名
令和3年 5月27日	宇都隆史	外務副大臣	世界の潮流を見据えた、これ からの日本の外交・安全保障	40名
令和3年 7月21日	山崎幸二	第6代統合幕僚長	FOIP 実現に向けた取り組み	緊急事態 宣言のため取止め
令和3年 8月21日	手塚真理子	海幕 ワークバランス推進 企画班長	海上自衛隊の女性自衛官 活躍の変遷と現状	70名

令和3年 9月26日	大久保雄史	空幕 F35 室 F35 班長	南西地域における空の守り ～琉球の空で想う～	70名
令和3年 10月25日	柴田裕里	防衛省 白書作成事務室長	令和3年度 防衛白書説明会	41名
令和3年 11月28日	吉村和就	国連環境アドバイザー	水なくして、国防なし！	53名
令和4年 3月16日	河野太郎	衆議院議員	日本の安全保障と 今後の課題	30名
合 計 (前年度)				328名 (309名)

(3) 機関誌「日本の国防」の頒布

機関誌「日本の国防」を計画通り年3回（第136号、第137号、第138）発刊した。

この際、国会議員、企業及び自衛隊の機関に加えて、全国の公立図書館へも頒布を行った。

機関誌 「日本の国防」	頒布先			
	会員等	防衛省	議員・企業 等	図書館
令和3年5月 新緑号 第136号	272部	3部	52部	48部
令和3年9月 新秋号 第137号	271部	3部	53部	48部
令和3年1月 新春号 第138号	266部	3部	53部	47部

(※頒布先各幕監理部)

(4) ホームページの運営

ホームページを活用して講演会の要旨等国防に関する各種情報を提供し、国防思想の普及啓発に努めた。

講演会開催をホームページで知った聴講希望者の若干増加を確認し得た。

2 自衛隊施設等研修・見学事業

富士総合火力演習、靖国神社参拝、自衛隊観閲式及び自衛隊音楽まつりの研修・参拝・見学を通じて会員及び一般参加者の国防問題に関する資質を涵養し、国防思想の普及を図ったが、新型コロナウイルス感染事態の影響で軒並み計画の中止にせざるを得なかった。靖国神社参拝は、理事長が代表して参拝をした。

3 幹旋品の販売事業

カレンダー及びバッジ（日の丸）の販売を通して、愛国心の高揚を図った。

幹 旋 品	販売個数(前年度)
カレンダー「躍動」	109部(79部)
バッジ「日の丸」	4個(4個)

III その他

1 会員の増勢

広告の継続、会員募集掲載の機関誌「日本の国防」の頒布拡大、自衛隊施設等研修・見学事業の促進等に加えて、ホームページを通じて国防思想普及事業に連携する会員の勧誘活動を推進した。

なお月刊誌「正論」広告（掲載約30万円）について経費節減から3年度は中止した。

会 員	新規入会数	合計数
年度会員	12名	197名
永年会員	2名	41名
名誉会員	0名	18名
法人・法人特別会員	0社	9社
購読会員	0名	0名

2 理事会及び評議員会の開催

会議の種類	実施回数	実施期日
理 事 会	3	令和3年 5月26日(火) 令和4年 1月24日(水) 令和4年 3月16日(火)
定時評議員会	1	令和3年 6月16日(水)
臨時評議員会	1	令和4年3月21日(月)

3 事業内容の変更

国防思想の普及啓発を更に推進するため、従来の事業に、「相談窓口業務」、「関係団体との交流」、「広報業務」の3項目を追加して、収益事業改善を図るための準備が整った。

以上